

学校支援地域協議会が、月に2回サタデースクールを運営している

兵庫県姫路市

■ 活動名

白鷺学校支援地域協議会

■ 関係する学校

姫路市立白鷺小学校・白鷺中学校

活動区分	基本データ			
	学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度
放課後子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	10人	60人	14日	無
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
	白鷺中学校学習室		22年度	無
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
その他				

※H24年度の実績(補助の有無についてはH25年度の状況)

活動の概要

白鷺小・中学校の児童生徒の学力の向上を目指し、学校・PTA・地域の代表で組織する白鷺学校支援地域協議会の中に、サタデースクール実行委員会を学校・PTA・地域の代表で組織し、平成22年度より実施している。

サタデースクールを運営するための運営ボランティアは、地域住民やPTAで構成し、児童生徒の学習を支援するための指導ボランティアは、兵庫県立大学学生、地元の元教員、地域住民に募集した。

対象の児童生徒は、小学校4年生から中学校3年生の希望者で、毎月第1・第3土曜日の午前中に開催している。児童生徒が持参した教材を使っての自主学習が主な内容である。

■ 特徴

[特徴的な活動内容]

平成22年度より、兵庫県立大学等の学生約20名、元教員約5名が指導ボランティアとして児童生徒の学習支援を行っている。

実施後には、毎回反省会を持ち、当日の状況及び課題について、そして、次回の内容について協議している。その中で、学生ボランティアの支援状況に対して、元教員より専門的なアドバイスをし、支援の充実を図っている。子供の実態に応じて、学生ボランティアが自主的にプリント等を作成し、活用することも増えてきた。

学習においては、小学校4年生と小学校5・6年および中学生と教室を分けている。小学校5・6年生は、中学生とともに学習することで、中学生の学習状況を知る機会となっている。



サタデースクールの様子

[実施に当たっての工夫]

白鷺中学校の施設を使用しているが、学校の教職員には負担をかけないようにしている。

指導ボランティアと運営ボランティアの連絡を密にすることによって、学生は地域住民の願い等を知る機会となっている。

反省会の内容で、学校に伝える必要がある場合は、運営ボランティアを通して連絡を行っている。

■ 事業を実施して

小学生と中学生がともに学習し、中学生の姿を見ることにより、小学生の自主的な学習姿勢が向上し、中1ギャップの軽減につながっている。元教員のアドバイスにより、学生ボランティアの指導力が向上し、個に応じた学習支援が充実している。

■ その他

卒業生が指導ボランティアとなって参加することもあり、地域の子供を地域で育て、地域活動に貢献するなど、地域の活性化のきっかけになっている。また、保護者も子供の教育を学校に任せてしまうのではなく、地域や学校との協働の営みで支援していこうとする気運が高まっている。



サタデースクール開校式